

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 水縄小学校プラン

《学校の教育目標》豊かな心と問題解決力を持ち、やさしく・たくましく生きる子どもの育成
 〈本年度 学校の重点目標〉めあてに挑み続け、伸びを実感する子どもの育成

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、他の学習や生活場面に生かすことができる。
【つくる力】

相手や状況に合わせて適切に表現し、お互いの思いや考えを尊重しながら協働できる。
【つなぐ力】

めあてを達成する方法を決め、実行し、振り返り、最後まであきらめずに挑戦しようとする。
【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①主体的に問題解決に取り組み、他者の考えと交流し、豊かに表現し、振り返って表現する学習過程になるようにする。くるめ授業スタンダードの徹底。基礎基本を生かした授業を計画的に行う。(毎日)
- ② 学力向上プランの確実な実施とPDCAによる授業改善(毎日)
【成果指標】「授業がよくわかる」と答える児童を10%増加させる。
- ③クロームブックを使って、情報収集をしたり自分の考えを表現したりする授業作りを工夫をする。(1日3回以上)
- ④コミュニケーション能力を高める外国語教育のスキルアップ研修の実施と教材の作成(夏季休業中)、自分の思いや考えを外国語で伝え合う活動を行う。(毎時間)

笑顔の先生

- ① 学級経営を基にPDCAサイクルで効果を見取り改善し、学級経営力の向上を図る。
- ②子どもと向き合う時間を確保するために、会議の目的と人数・時間設定を見直す。(月1回)
 提案資料はA41枚とし、事前配布する。(毎回)
【成果指標】「先生は分かるまで教えてくれる」と答える児童の割合が90%以上

協働する学校・家庭・地域

- ①規則正しい生活リズムを身に付けさせ、家庭学習や読書習慣を定着させる。
- ②三美(挨拶・言葉づかい・掃除)運動を推進し、豊かな心の育成を図る。
- ③家庭学習を強化する「ほめホームがんばるぞうウィーク」を2ヶ月に1回実施し、保護者啓発をする。

楽しい学校

- ①いじめ・不登校の予防と早期発見・早期対応を徹底する。(毎日) いじめ・不登校対策委員会で、ケースに応じた組織化や対応策を検討し、全職員で共有する。(月1回) 学校生活の状況や悩みを把握する児童・教師の教育相談を行う。(学期1回) **【成果指標】「学校が楽しい」と答える児童が90%以上 いじめの認知件数が10%増加**
- ②児童会、委員会が主体となった「休み時間の安全な過ごし方・廊下の通り方」「けが人数と発生場所、原因」を伝える取組を行う。(月1回掲示・放送)
- ③ペア・グループ・全体で考えを交流し、自他の伸びや学び合う喜びを実感できる授業を行う。(毎日)

【体力向上】

- ①体育の時間の始めに、持久力を高めるための3分間走や短縄跳びを行う。(毎時間)
- ② 体育の時間でラジオ体操を実施する。
(「1校1取組」運動)
 ・体力アップシート活用率:目標80%
 ・スポコン広場登録学級数:目標3学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①「三美運動」の1.「美しい挨拶」の励行を促し、全校朝会等で挨拶名人を評価する。(毎月)
- ②「三美運動」の3.「美しい掃除」の励行を促し、日常の場面で評価する。(毎日)
- ③「ほめホームがんばるぞうウィーク」の取組を実施・評価し、通信を配布する。(2ヶ月に1回)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】「人権・同和教育の視点に立った指導のポイント」を活用して、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行う。(要綱のP 参照)
- 【特別支援教育】個別の指導計画・支援計画を充実させ、特支Co中心に協働的支援を行う。(要綱のP 参照)
- 【キャリア教育】キャリアパスポートを活用して、自他の伸びを認め合う。(要綱のP 参照)